

海外で見た日本式教育 「特別活動(TOKKATSU)」!

◀エジプト教師
海外研修の
様子を動画で
公開中

2022年度 JICA教師海外研修(教育行政コース)をエジプト・アラブ共和国で実施し、全国から15名の教育委員会職員、学校管理職の方が参加されました。北陸地域から参加された輪島市立河原田小学校校長の浅見淳一先生は、「エジプトに行き、日本式教育を取り入れた学校を視察して、改めて特別活動(特活)の重要性について考えることができた。また、生徒が主体となって特活の授業を進める姿を見て、日本も、改めて特活を含む日本式教育の良さを再確認する必要があるのではないかと感じた。」とお話されていました。

参加した先生方とは帰国後も情報交換を続けているようで、学びが多い充実した研修になったようです。



エジプト日本学校(EJS)5年生の学級会で活発に議論される様子
司会者が王冠をかぶり、全員の意見を聞きながらまとめていく



実験語学学校の生徒と意見交換する浅見先生

2023年度 教師海外研修(一般)の開催が決定!



応募方法や
日程などの詳細は
こちらをご覧ください

訪問国は
ネパールです。



ネパールの学校の様子(写真:佐藤 浩治)

インドネシア農業省職員が福井県にやってきました!

株式会社農園たやは「JICA草の根技術協力事業」を活用して技能実習生の送り出し・受入れ環境の改善に取り組んでいます。事業の一環として、実習生を送り出しているインドネシア農業省職員4名を日本に招いて、福井県内の実習生の視察や受入れを考えている農家とのディスカッションなどを実施しました。農家の皆さんからは文化や宗教の違いを心配する声や、帰国後も実習生との関係を保ち続けたいという意見が挙がっていました。インドネシア農業省職員にとっても、受入れ農家側のリアルな声を聞くことができ、貴重な機会になったと思います。



実習生にヒアリングを行う農業省職員



福井県で初めて見る雪の前で集合写真



「インドネシアの農業が右肩上がり」と願いを込めて

マダガスカルと福井をつなぐ

JICA海外協力隊員
2021年12月より派遣中
岩堀 陸宗さん
派遣国:マダガスカル 職種:柔道 出身:福井県



私が指導しているルバという柔道選手が、東京グランドスラムという大会に出場するため、私もコーチとして帯同しました。彼にとっては初めての世界大会で、敗れはしたもののトップレベルの選手との交流や世界大会の雰囲気を感じ、貴重な経験が出来たと思います。大会後は私の地元福井で合宿を行い、多くの方と交流させて頂き、福井・マダガスカルを相互に知ってもらえる機会となりました。今後も、柔道を通して福井とマダガスカルを繋いでいきたいと思っています。



東京グランドスラム大会にて、岩堀さんがコーチ席からマダガスカルからのルバ選手(白)を撮影



岩堀さんの母校の柔道クラブの子ども達と交流するルバ選手

金沢工業大学と石川県立大学で 学んでいるJICA長期研修員を紹介します!

①出身国 ②名前
③大学名 ④研究テーマ

- ①ガーナ
- ②アンクル エルニーさん
(Mr. Ernest Apraku)
- ③金沢工業大学
- ④ガーナと南アフリカ共和国における
料金収受システムの比較研究



- ①ケニア
- ②ドゥンカンさん
(Mr. Muchendu Duncan)
- ③金沢工業大学
- ④コンクリート構造物の劣化(ダム)



- ①ブータン
- ②リンチェンさん
(Mr. Rinchen Gyeltshen)
- ③金沢工業大学
- ④極限環境下におけるコンクリート橋の
長期維持管理戦略



- ①ブータン
- ②ティーティーさん
(Mr. Tempa Thinley)
- ③金沢工業大学
- ④斜面崩壊の分析と適切な緩和策



- ①ガーナ
- ②アンドリュースさん
(Mr. Andrew Kuttin-Mensah)
- ③金沢工業大学
- ④道路状況調査における情報通信技術と
情報ロボットテクノロジーの活用について



- ①ルワンダ
- ②ミナニさん
(Mr. Felicien Minani)
- ③石川県立大学
- ④天然素材(ハーブなど)における
抗菌性物質の特定と評価

